

～下記の研究を行います～

『外国人患者の退院支援において 必要な情報収集についての考察』

【研究責任者】救命救急センター 看護師 岡田 翔太

【研究の目的】過去に当病棟において DPC II 期^{*1}を超え退院または転院した外国人患者のカルテ情報を後方視的に調査し、退院支援の視点から必要な情報収集について考察する。

【研究の期間】研究許可日～令和 3 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 27 年 1 月 1 日～令和 1 年 12 月 31 日までに当院の救命救急センターに入院し、DPC II 期を超え退院または転院された外国人の方。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病名、家族構成、制度利用状況、人間関係、住環境、生活歴、経済状況、就学・就労状況等

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

※1 入院期間中に最も医療資源を投入した「傷病名」と入院期間中に提供される、手術、処置、化学療法などの「診療行為」の組み合わせにより分類された診療群分類。Ⅱ期は診療群分類の平均在院日数のこと。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 救命救急センター (役職名) 看護師 (氏名) 岡田 翔太